

「終活」をしてみよう!」を開催しました。

平成26年7月3日・10日・17日・24日の4日間、「一般社団法人わライフネット」会員の5人の方を講師にお迎えし講座を開催しました。

第1回目は瑞田信弘さん(浄土真宗本願寺派 稱讚寺住職)から「終活について」というテーマで、次のようなお話しをしていただきました。

「生・老・病・死、旅立ちのアレンジ、ライフデザインを考える」ということで

★「老」 老いと上手に付き合い、判断能力の衰えに備えようというお話しをしていただきました。また、大切な人にあなたの思いや感謝の気持ちを伝えるメッセージを書こうというお話もありました。

★「死」 あなたの葬式についての希望、臓器提供・アイバンク・献体などの希望の意思表示、仏壇・墓・位牌・お骨についての希望は?などのお話を、実際の檀家様とのやりとりなどのお話も盛り込み、とてもおもしろく講義をしていただきました。



第2回目は馬場真理さん(ライフスタイルコーディネーター)から、「ものと心のかたづけかた」というテーマで、次のようなお話しをしていただきました。

● かたづけについて、①何のためにするの ②重要性 ③メリット ④かたづけを成功させるためのポイント これらにより、少しずつ、暮らしが楽になり、居心地も心地もよくなっていきます。また、かたづけの3Sは整理・整頓・清掃だそうです。



第3回目は本多 正人さん(ファイナンシャルプランナー・ライフプランナー)から「ねんきん定期便でリタ活」というテーマで、次のようなお話しをしていただきました。

「リタ活」というのは、「リタイア後の活動」の略で退職した後の生活のことをいいます。

日本は超高齢化社会に突入します。これから自分のことは自分で守らなくてはならない時代になります。そのために公的年金制度のほか年金定期便やその見方の説明、また、講師が配付した「リタ活計画ノート」の活用術について説明がありました。

第4回目は岩佐一史さん(シニアライフマネージャー)から「家庭の仏壇と子どもの情操教育」、三好康治さん(お墓ディレクター1級)から「お墓について」というテーマで、次のようなお話しをしていただきました。

1 岩佐さんは、子どもの情操教育について、仏壇にお参りする行為について次のようにお話しされました。

現代の家庭は父権というものがなくなり、子どもに対しての絶対的な権威というものがなくなっていると言われますが、親が日々ご先祖様にお参りする後姿を見せることによって、自然に感謝の心や、「遠い先祖に至るまでの深い深い長い長い喜びの中にこそ、今の自分がある。」ということにきっと子どもたちも思いを致し、同じ心の延長の中につながってくるでしょう。

2 三好さんは、お墓についてお話しをしてくださいました。古来より私たち日本人はお墓参りを通してご先祖様を供養してまいり、「お墓参りがご先祖様と家族の絆を繋いでいる。」というお話や、お墓参りによりとても心穏やかに温かく優しい気持ちになれるというお話しをしてくださいました。

たくさんの方々においでいただき、また終始みなさま熱心に受講していただきありがとうございました。講師の方々もわかりやすい資料をご準備いただき、おもしろく、かつ為になる講義をありがとうございました。